

ESPO

NO. 607

2022.7月25日発行



宮城県中小企業団体中央会
Miyagi Prefecture Federation of Small Business Associations

「ESPO」とは…フランス語のESPOIR（エスポワール）の略で「希望」の意味です。社会にとって明るく可能性と希望に満ちた存在であり、バイタリティあふれる中小企業を象徴するものとして命名しました。



折石(気仙沼市)

第74回中小企業団体全国大会（長崎） 開催のお知らせ

令和4年度の中小企業団体全国大会は、造船業を母体として成長・発展を遂げ、全国最多の有人島、2つの世界文化遺産など魅力豊富な長崎県で開催されます。

また、今秋には、九州新幹線西九州ルートの一部開業（長崎駅－武雄温泉駅）が予定されており、既に開業している鹿児島ルートへのアクセスもより便利になりつつあって、今後の観光やビジネスが活発化することが期待されております。その進化を続ける長崎での中小企業全国大会への参加について、皆様にご検討を頂きたくお知らせいたします。

なお、ご案内につきましては、7月中旬に会員組合等の皆様にお送りさせていただく予定でございます。

開催日時 令和4年（2022）11月10日（木）14：00～16：30

開催場所 出島メッセ長崎（長崎市尾上町4-1）

主催 全国中小企業団体中央会・長崎県中小企業団体中央会

Contents

03 トピックス

- 令和4年度（第66期）通常総会を開催しました

04 ● 宮城県商店街振興組合連合会令和4年度通常総会を開催

- 商店街近代化講習会のお知らせ

05 ● みやぎレディース中央会

- ようこそ仙台おもてなしバスツアー

06 ● 宮城県中小企業団体青年部連絡協議会（Miyagi-UBA）令和4年度通常総会を開催

- 全国中小企業青年中央会（UBA）創立30周年記念式典 宮城県からは2青年部が表彰を受賞

07 ● 塩釜仲卸市場合併記念式典／組合活性化支援事業の紹介

- 新組合発足と仲卸市場の今後の展望について 理事長インタビュー

08 トピックス（特集・シリーズ）

- 会長対談
（佐藤 多恵氏〔シンガー・ソングライター 丸森町PR大使（丸森こらいん大使）〕）

10 お知らせ

- 『令和4年度 組合等活性化支援補助事業』のご案内

11 景況レポート

- 令和4年5月分

12 お知らせ

- 中小企業団体全国大会に向けて宮城県からの要望事項

14 コラム

- 地域づくりの新傾向（上）
東北学院大学 教養学部地域構想学科 教授 柳井 雅也 氏

16 トピックス

- 新規卒卒者等採用に係る雇用要請
- 仙台学長会議からの要望

17 ● 令和4年福島県沖地震グループ補助金申請受付中です

コラム

- 虎視眈々……事務局のつぶやき

18 経営相談室

- 登記手続きの話（組合法解説 vol：2）

19 お知らせ

- 中小企業団体全国大会 宮城大会

20 広告

- 産業雇用安定センター 宮城事務所



表紙の写真

折石

太平洋側の唐桑半島は、波が荒く浸食による奇岩が多くあります。巨釜半造は唐桑半島を代表する景勝地で遊歩道が整備されています。碧く波打つ海中からそびえ立つ「折石」は、高さ16m、幅3mの大理石の巨大な石柱です。
（写真提供：宮城県観光プロモーション推進室）

令和4年度（第66期）通常総会を開催しました

去る6月10日（金）江陽グランドホテルにおいて、第66期通常総会を開催しました。今年度も新型コロナウイルス感染防止のため、ご出席いただく人数を縮小しての開催となりましたが、議事においては、賛助会員制度の創設に伴う定款の一部変更を含む計9議案を満場一致にて可決し、役員改選では下記のとおり新役員が決定しましたのでお知らせいたします。また、総会終了後には着席形式ではありますが、3年ぶりに組合関係者並びにご来賓・関係機関の皆様ご出席のもと

で懇親会も開催いたしました。

なお、本総会において「優良組合」「組合功労者（役員）」「組合功労者（専従役員）」「中央会共済事業成績優秀者表彰」各部門の表彰が行われました。受賞されました皆様、おめでとうございます。



〈宮城県中央会新役員名簿〉

役職	氏名	組合名	備考
会長	佐藤勲三郎	宮城県ホテル旅館生活衛生同業組合	
副会長	岩沼 徳衛	宮城県水産物商業協同組合連合会	
	高野 剛	宮城県生コンクリート工業組合	
	針生 英一	宮城県印刷工業組合	
専務理事	田中 善一	協同組合仙台卸商センター	
	庄子 清一	仙台トラック事業協同組合	
	大内 仁	員外	
	五十嵐善正	宮城県農機具商業協同組合	
	阿部 善久	塩釜蒲鉾連合商工業協同組合	
	藤原 直	宮城県商店街振興組合連合会	
	佐藤 義信	宮城県石油商業協同組合	
	佐藤 正之	宮城県解体工事事業協同組合	
	佐藤 正明	協業組合アクアテック栗原	
	千葉 嘉春	宮城県建設業協同組合	
理事	本田 典明	一般社団法人宮城県機械金属工業会	
	吉田 信吾	南三陸水産加工事業協同組合	
	庄子 泰浩	宮城仙台青果商業協同組合	
	蜂谷 幸男	仙台団地倉庫協同組合	
	荒井美佐子	みやぎレディース中央会	
	吉見 光宣	奥州白石温麺協同組合	
	山田 正広	仙台自動車整備工業団地協同組合	
	千葉 基	宮城県木材協同組合	
	小林 秀明	宮城県再生資源商工組合	
	山田 理恵	一般社団法人みやぎ工業会	
	梶谷 啓二	宮城県信用組合協会	新任
	井上 環	宮城県管工業協同組合	新任
	深松 努	杜の都建設協同組合	新任
	鈴木 彦衛	宮城県味噌醤油工業協同組合	新任
	伊澤 平蔵	宮城県酒造協同組合	新任
前澤 博	宮城県電気工事工業組合	新任	
幸村 憲治	協同組合エムビー・ネットワーク	新任	
菅原 裕典	宮城県葬祭業協同組合	新任	
色川 雅夫	協業組合石巻浄化槽管理センター	新任	
嘉藤 明美	仙台東部工場団地協同組合	新任	
朝比奈 徹	宮城県中小企業団体青年部連絡協議会	新任	
監事	松坂 信	クリスロード商店街振興組合	新任
	松本 鉄幹	石巻工業団地協同組合	新任
	引地 智恵	宮城産業人クラブ	新任

〈宮城県中央会会長表彰受賞者〉

順不同・敬称略

表彰区分	組合名	役職・所属	氏名
優良組合	宮城県鮮かき卸協同組合		
	仙台無線タクシー協同組合		
	東北圧接業協同組合		
	宮城県森林整備事業協同組合		
	宮城県釣船業協同組合		
	オール宮城運輸事業協同組合		
	宮城県ソフトウェア事業協同組合		
	宮城県歯科医師協同組合		
	夢の森つやま協同組合		
	三陸アシスト協同組合		
	宮城民医連事業協同組合		
	宮城県水産サービス振興協同組合		
	鳥の海ふれあい市場協同組合		
	宮城県交通安全施設業協同組合		
	協同組合仙台獣医師会	元理事長	庄司 典嗣
宮城県葬祭業協同組合	元理事長	倉島 義彦	
登米本吉運送事業協同組合	理事長	後藤 益美	
宮城県食用茸協同組合	理事長	郡山 賢一	
宮城県中古自動車販売商工組合	理事長	伊藤 行雄	
気仙沼製氷冷凍業協同組合	理事長	岡本 寛	
宮城県遊技業協同組合	理事長	新井 清浩	
宮城県森林整備事業協同組合	元副理事長	奥津 文男	
クリスロード商店街振興組合	元副理事長	荒井 岩雄	
仙台水産物商業協同組合	副理事長	菅井 紀六	
宮城県板金工業組合	副理事長	佐々木三男	
宮城県板硝子商工協同組合	副理事長	一條 信行	
ゆりあげ港朝市協同組合	副理事長	佐藤 智明	
パルフォーム事業協同組合	専務理事	新野 藤蔵	
宮城県酒造協同組合	元専務理事	森 千博	
仙塩地区管工業協同組合	事務局長	長谷川茂雄	
宮城県板金工業組合	事務	後藤美智子	
石巻青果連合商業協同組合	事務局長	門間 正宏	
協同組合仙台卸商センター	事業部長	小松 浩二	
大樹生命保険株式会社仙台支社	仙台第一営業部	阿部由紀子	
大樹生命保険株式会社仙台支社	仙台第一営業部	角田紀美子	
大樹生命保険株式会社仙台支社	仙台第一営業部	稲月 保子	



中央会 佐藤会長
東北経済産業局産業部 鈴木部長
宮城県経済商工観光部 大庭副部長
仙台市経済局 今村次長



宮城県商店街振興組合連合会 令和4年度通常総会を開催

宮城県商店街振興組合連合会（県振連）の令和4年度（第51期）通常総会が6月17日（金）午後2時より宮城県商工振興センター会議室にて開催されました。

委任状を含む会員22名が出席し、令和3年度決算承認の他、令和4年度事業計画・収支予算等の議案が審議され、いずれも原案どおり可決確定しました。

また、任期満了に伴う役員の改選が行われ、理事9名、監事2名が選任されました。

理事として新たに篠田一壽氏〔立町大通り商店街振興組合（石巻市）理事長〕、監事として新たに渡邊博之氏〔仙台駅前



藤原理事長

商店街振興組合（仙台市）理事長）、栗野裕一氏〔宮城県火災共済協同組合 専務理事〕が選ばれました。

県振連では、今年度も県下商店街振興組合の更なる発展に向け、各事業を積極的に展開して参りますので、引き続き皆様のご協力を賜りたくお願い申し上げます。

宮城県商店街振興組合連合会 新役員名簿

（敬称略）

役職名	新任・重任の別	氏名	所属商店街	組合役職
理事長	重任	藤原 直	サンモール一番町商店街振興組合（仙台市）	理事長
副理事長	重任	佐々木 愛一	七日町中央通り商店街振興組合（大崎市）	理事長
副理事長	重任	山崎 浩之	クリスロード商店街振興組合（仙台市）	会長理事
専務理事	重任	大内 仁	宮城県中小企業団体中央会	専務理事
理事	重任	大友 克人	サンカツール商店街振興組合（仙台市）	理事長
理事	重任	佐藤 広行	宮町商店街振興組合（仙台市）	理事長
理事	重任	安住 浩一	名掛丁商店街振興組合（仙台市）	理事長
理事	重任	湯澤 一也	本町商店街振興組合（仙台市）	理事長
理事	新任	篠田 一壽	立町大通り商店街振興組合（石巻市）	理事長
監事	新任	渡邊 博之	仙台駅前商店街振興組合（仙台市）	理事長
監事	新任	栗野 裕一	宮城県火災共済協同組合	専務理事

～宮城県商店街振興組合連合会主催～ 商店街近代化講習会のお知らせ

今年度の商店街近代化講習会はDX対応の基本的な内容と具体的な取組方法のほか、グループワークを通して理解を深め、商店街の皆様がDXを始めるきっかけとなる講習会を開催いたします。詳細については後日ご案内いたします。

日時 9月8日(木) 18:30～20:30

場所 ヒューモスファイヴ仙台駅前貸会議室8階「Aホール」
（仙台市青葉区中央1丁目10番1号）

テーマ 「設備なし！ 予算なし！ ゼロから始めるDXとは」

講師 合同会社BPRサービス 代表 岡部 吉成氏



◆講習会等の各種ご案内につきましては県振連メールマガジン等でもご紹介致しますので是非ご覧下さい。

みやぎレディース中央会 ～令和4年度通常総会を開催～

5月11日(水)、「メゾン ドリア・フィーユ」において令和4年度通常総会を開催いたしました。総会終了後には理事会を開催し、会長に荒井美佐子氏(荒岩商事株式会社取締役副社長)、名誉会長に平賀ノブ氏(有限会社ひらが代表取締役)、そして、平成12年8月の創立以来、長きにわたり副会長職を務めてこられた山岡講子氏は、新たに相談役に就任されました。



(敬称略)

新役員名簿

役職	氏名	所属
会長	荒井 美佐子	荒岩商事株式会社
副会長	高田 登志江	株式会社宮城運輸
副会長	山本 琴枝	有限会社ケー・ワイ不動産企画
副会長	菅原 裕美子	株式会社阿部砂利建設
理事	佐藤 郁子	株式会社汐見不動産
理事	高橋 弘美	鳴子ホテルマネジメント株式会社
理事	小泉 知加子	有限会社小泉プロダクション
理事	齋藤 裕子	斉藤コロタイプ印刷株式会社
理事	大原 みよこ	株式会社スマイルアップ
理事	藤間 多紅	藤間多紅日本舞踊教室
理事	鈴木 二三四	ローズマリー
理事	辺見 香織	有限会社東北レーベルシステム
理事	渡辺 エリ	株式会社イーアールアイ
監事	鈴木 千枝子	有限会社ブランドールエステート梓
監事	大沼 セツ子	ワークスプラン株式会社
名誉会長	平賀 ノブ	有限会社ひらが
相談役	山岡 講子	NPO 法人環境会議所東北

ようこそ仙台おもてなしバスツアー ～会員17名が参加～

みやぎレディース中央会は、6月18日(土)仙台まちなか女子部企画の「ようこそ仙台おもてなしバスツアー」に参加いたしました。

震災遺構荒浜小学校、JRフルーツパーク仙台あらはまを見学の後、アクアイグニス仙台「笠庵」にて昼食、午後は荒町

商店街の森民酒造を見学し、仙台市中心部商店街を散策しました。

アクアイグニス仙台では深松社長様がお出迎えくださり、森民酒造では荒町商店街振興組合の皆様より温かい歓迎を受けました。ありがとうございました。



宮城県中小企業団体青年部連絡協議会（Miyagi-UBA） 令和4年度通常総会を開催

宮城県中小企業団体青年部連絡協議会の令和4年度（第46期）通常総会が5月17日（火）午後4時よりパレスへいあんにて開催されました。

会員47名が出席し、前年度の収支決算承認の他、今年度の事業計画・収支予算等の議案が原案どおり可決されました。また、任期満了に伴う役員改選において新役員15名が選任され、総会後に開催された理事会において、朝比奈徹氏が

が新会長に選任されました。理事会後に開催された懇親会では、3期6年務めた大須賀前会長に朝比奈新会長から花束が手渡されました。



左：朝比奈 徹 会長 右：大須賀 真 前会長

新役員名簿

(敬称略)

役職	氏名	企業名(所属青年部)
会長	朝比奈 徹	有限会社朝比奈商会(仙台自動車整備工業団地(協)青年部)
副会長	三浦 和彦	築館運輸株式会社(仙台トラック事業(協)青年部会)
副会長	山田 光彦	山三建硝株式会社(宮城県板硝子商工(協)青年部)
副会長	秋場 雅史	鳥羽建設工業株式会社(宮城県解体工事業(協)青年部会)
理事	福原 大介	有限会社イハラ商事(仙台駅東口商工事業(協)青年部)
理事	松田 章	株式会社守屋青果物商店(仙台中央青果卸売(協)青年部)
理事	宮城 裕充	株式会社ヒューモス(仙台駅前商店街(振)五番街地域研究部)
理事	齋藤 友和	株式会社ステップスナイン(宮城県再生資源(商工)青年部会)
理事	太宰 秀郎	株式会社白石倉庫(仙台団地倉庫(協)青年部)
理事	中山 敏昭	共同紙工株式会社(仙台印刷工業団地(協)青年部)
理事	佐々木 直貴	株式会社 Long Town(長町駅前商店街(振)青年部)
理事	庄子 隆弘	株式会社宮城衛生環境公社(全環衛生事業(協)青年部)
理事	日下 利治	株式会社くさかや(宮城県葬祭業(協)青年部)
監事	高平 康一	株式会社高平精肉店(仙台食肉三水会)
監事	大泉 雄介	株式会社北栄工業所(宮城県管工業(協)青年部連絡協議会)

全国中小企業青年中央会（UBA） 創立30周年記念式典 宮城県からは2青年部が表彰を受賞

全国中小企業青年中央会の2022年度通常総会及び創立30周年記念式典が6月3日（金）に東京都港区の明治記念館において開催されました。記念式典では他の模範となる優良青年部に対して、全国中央会及び全国青年中央会からの表彰があり、全国で77の青年部が受賞しました。宮城県からは「仙台団地倉庫協同組合青年部」と「仙台印刷工業団地協同組合青年部」がそれぞれ受賞されました。

授賞式においては、仙台団地倉庫協同組合青年部に所属し、宮城県青年部連絡協議会の前会長を務めた大須賀真氏が、全国の青年部を代表し、壇上にて全国中央会の森洋会長から表彰状を受け取り、表彰の謝辞を述べました。式典の後には、牧島かれんデジタル大臣の記念講演があり、大盛況の内に終了しました。



左：全国中央会会長 森洋氏 右：大須賀真氏

受賞おめでとうございます

- 全国中小企業団体中央会 会長表彰
仙台団地倉庫協同組合青年部
- 全国中小企業青年中央会 会長表彰
仙台印刷工業団地協同組合青年部



塩釜仲卸市場合併記念式典／組合活性化支援事業の紹介

6月2日（木）ホテルグランドパレス塩釜で塩釜市の塩釜水産物仲卸市場を構成する4協同組合（塩釜魚類卸商業協同組合、塩釜鮮魚卸協同組合、塩釜水産物加工品商業協同組合、塩釜中央鮮魚協同組合）の合併によってできた新組合『協同組合塩釜水産物仲卸市場』の発足を記念する式典が開催されました。式典には佐藤光樹塩釜市長をはじめ、弊会会長の佐藤勘三郎や水産業関係者ら約70名が出席し、鏡開きなどで新たな門出を祝いました。

4協同組合の合併については、弊会の『組合活性化支援事業』を活用し、公認会計士・税理士に外部専門家として参加いただき、本会職員も加わる形で検討・策定のための小人数の会議体を設け、約2年間の委員会開催を経て合併に

至ることができました。今後も当事業を継続し、4協同組合の上部組織である協同組合連合会の解散や組合の将来ビジョン策定について支援を行っていきます。

『組合活性化支援事業』は、組合や業界が抱える経営課題克服に向けた検討、新規事業計画の立案、将来ビジョン等の策定に際し具体化していくための取り組みを支援します。詳細につきましては、本会各担当職員にお問い合わせください。



塩釜市長 佐藤光樹氏



中央樽、左から旧塩釜鮮魚卸協同組合 理事長 宮内勲次郎氏、旧塩釜中央鮮魚商業協同組合 理事長 阿部秋雄氏、塩釜市長 佐藤光樹氏、協同組合塩釜水産物仲卸市場（旧塩釜魚類卸商業協同組合）理事長 坂本和正氏、旧塩釜水産物加工品商業協同組合 理事長 早坂定雄氏

新組合発足と仲卸市場の今後の展望について 理事長インタビュー

組合の合併に関しては、各組合・組合員の皆様には大変ご協力いただきました。2年間に渡りご検討いただき、各組合の歴史や所属する組合に思い入れがある中、4組合合併の判断をいただきありがとうございます。私としては単純に美味しいと思ってもらい、また市場に来てもらいたい、『そうだ！ 仲卸市場に行こう！』と言っていただけの市場にしたいという思いから合併を推進してきました。組合が1つになったことで組織としての意思決定スピードを速め、迅速に行動を起こすことができるようになりました。その1つとして空いたスペースの有効活用があげられます。空いたスペースを北側に集約することでフードコートの拡張やテナント誘致ができるようになりました。これはまだ一つの案ですが組合が合併したからこそできることです。5年先、10年先の中長期のビジョンを見据えた組合運営とコロナ禍の短期的な事業運営を行い、お客様にも組

合員にも満足していただける持続可能な仲卸市場となるよう改善が求められています。

組合の諸先輩方や若手で構成されるブリッジプロジェクト、塩釜市、中央会、皆様のお知恵をお借りして、今の時代に合ったやり方と昔ながらの仲卸市場の良いところを融合し魅力ある市場にしていきたいと考えています。4組合が合併し新たにできた協同組合塩釜水産物仲卸市場をよろしく願いいたします。



理事長 坂本和正氏



TALK SESSION

シンガー・ソングライター

佐藤 多恵 氏

丸森町PR大使(丸森こらいん大使)



佐藤 勘三郎 会長

地域に学べば、明日が見える

～宮城・丸森でこそ歌える歌～

今回の「トークセッション」は、シンガーソングライターの佐藤多恵さん。震災を機に、何を歌うべきか見定め、丸森の自然の魅力をクワガタ・カブトムシから学び、命と食について考え、コロナ禍でも挑戦の幅を広げて、生きる喜びを歌い継いでいます。地域の価値、そして世界の明日までを考える対談になりました。

震災……そして、丸森で生きよう——と

佐藤 シンガー・ソングライター活動と、2人組ユニット「Tae-chu」で音楽活動をしている、佐藤多恵です。

会長 佐藤さんは歌で地元をつなぐというか、いろんな地域活動をされていて、私には「地域を紡ぐ人」というイメージがあります。単なるシンガーじゃないな……って。

佐藤 子どものころから、「歌手になりたい。それには東京

でなければ……」と思っていました。実は、2011年の3月12日にオーディションの予定だったんです。でも東日本大震災で行けなくなり……。沿岸部の被害を見て、「私が地元のためにできることは？」と考え、復興のお手伝いをしたり歌ったり。神戸や大阪で募金集めコンサートもやりました。3年ほど様々に考え、やがて「ここががんばろう」と思うようになりました。

会長 震災前と後で、歌は変わりましたか？

佐藤 悲しいことじゃなく、いいことを歌おうって。美しい景観は失われ、親しい人がなくなった。それでもここに住むという気持ち——それを歌にしなければと思っています。「今がある。それだけで素晴らしい」というテーマで曲を書くことが多くなりましたね。

会長 震災前は「東京へ」という気持ちだったとのこと。仙

台は最近まで「学校卒業後に首都圏に出る若者」の比率が全国一多かった。なぜ宮城の企業よりも首都圏の企業のほうが魅力的に映るのか、佐藤さんはどう思われますか？

佐藤 首都圏だと、自分が輝ける仕事キラキラと見える。地方では女性が主体的になれる仕事はまだ限られます。東京ならAがダメでもA'やB、Cへ、と選択肢が多いからでしょう。会長 仙台でも、ジェンダーギャップみたいなものがまだまだあると。

佐藤 「女性なのに・女性だから」という見られ方を感じます。何か目立つ活動をする、「よし頑張れ！」って応援するより、「失敗するんじゃない？」とリスクの方ばかり見て、新しい風を起こそうという人を、「どうせ……感」で見下す傾向がある気がします。

会長 「どうせ……感」か、なるほど。僕も以前、スタートアップ企業——IT系の若い人が起業して「こんなアプリを開発しました」というと、福岡では「じゃあ1回使ってみるか！」と応援してくれるけど、東北はそういう反応がないと聞きました。若者はそういう“空気”を敏感に感じるんでしょうね。僕たち企業人に若者の考えや決意を後押しする姿勢がないと、この構造は変わらないかもしれないですね。

クワガタムシと遊び、猫神さまと未来へ

佐藤 クワガタ・カブトムシに特化した専門誌で記事を書かせていただいたり、YouTuberとして調べたことを動画配信しています。それで生き物の知識が大事と思い、「生物分類技能検定3級」を取得しました。昆虫をめぐる人間関係も広がり、それが音楽にも生きています。今は、「人間は自然に生かされている」という根本的なことを大切にしたいと感じますし、丸森の環境が本当に大事だと考えています。

会長 近ごろは、テレビとか昆虫グッズのブランド、昆虫捕りでアフリカへ……といった本や昆虫食など、昆虫の話題が多いですね。

佐藤 昆虫食カフェなども出来て、昆虫食に可能性を感じています。日本は食料を輸入に頼ってますし、ウクライナ戦争での危機感があります。おじいちゃん、おばあちゃんから「残さず食べな」といわれ育ったので、食品ロスも気になりますね。

会長 昔はイナゴとか蜂の子、長野ではザザ虫……昆虫食が普通にありました。地球環境や食糧問題からも考えるべき時期だと思います。食糧供給側である丸森町には、消費側と全



取材協力：あぶくま荘

然違う景色があり、筆甫地区の地域循環の活動など先端的だと感じます。そんな観光的な面を上手に生かせれば、丸森の魅力はもっと輝くと思うんです。

佐藤 「丸森町の推しは？」と聞かれることも多く、齋理屋敷、阿武隈川舟下り、食べ物ではころ柿・へそ大根や高野豆腐もあります……と。丸森和紙・シルク和紙などの工芸品もあるし、棚田百選はすごくきれい。たたら製鉄所も年何回か行われてるのにあまり認知されてない。「丸森のブランディング」ができていないなって……。

会長 丸森町PR大使としても「響くもの」が欲しいですね。最近、猫神さまがポジションを上げてますか？ 歴史好きに絶対にウケる戊辰戦争の古戦場なども、宮城県では丸森ぐらいしかない。

佐藤 猫神さまはいいですよ。古戦場など貴重な場所と猫神さまを結べば……。養蚕業が盛んだったから猫を祀ったんでしょう、きれいな石碑がたくさんあるんですよ。そして、街中に猫がらみの美味しいお菓子や食事処、かわいい猫グッズ、猫とコラボみたいなシーンがあればすごく楽しめますよね。

会長 「猫神さま」で一点突破・全面展開していけばいい。宮城は県も市町村も力を入れているけど、全国・インバウンド観光では身近なものじゃ響かないと思い込んでいて、次の展開に至らない感じがします。佐藤さんには、歌と昆虫の力で広報していただいて（笑）、盛り上がるプログラムを期待しております。今日は大変ありがとうございました。

佐藤 楽しみながら活動していきたいと思います。ありがとうございました。

佐藤多恵氏のプロフィール

丸森町出身・在住。幼少時から歌手を志し、シンガーソングライターTaeとして活動を開始。2013年に仙台市のヨースケ氏と音楽ユニットTae-chu（たえちゅー）をスタート。これまでCD、DVD含む14枚を発表。2015年7月～宮城県丸森町PR大使。2017年には宮城県民共済CMソング「オモイデ日記」を発表。TV出演等多数。クワガタ・カブトムシを愛するYouTuberでもある。

たえたそちゃんねる



※インタビューは、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し実施。終了後にマスクを外し顔写真等の撮影を行いました。

『令和4年度 組合等活性化支援補助事業』のご案内

本会では標記事業により、新商品等の開発、販路の拡大・回復又は確保、地域商店街等にぎわい創出、人材確保・育成等に取り組む組合及び組合員企業の皆様を応援しておりますが、今年度の実施組合等を下記のとおり公募いたします。

公募期間

- 公募開始：令和4年7月20日（水）
- 応募締切：令和4年8月15日（月）【消印有効】

補助上限額及び補助率

- 会員組合 10万円
- 会員組合の組合員企業 5万円
- 補助率：補助対象経費の2/3以内

事業期間

- 採択決定の日から令和5年2月24日（金）

※8月下旬頃に採択決定を行う予定です。

※原則、事業期間内に納品、支払いが完了した経費が補助対象となります。

応募方法

公募要領、対象経費一覧等は会員組合の皆様にご郵送いたしておりますので、書類内容をご確認のうえご応募ください。

対象となる事業

- (1) 組合等研究開発及び展示商談会等出展支援補助事業（販路拡大・回復など）
- (2) 地域商業活性化事業支援補助事業（にぎわい創出など）
- (3) 人材確保・定着支援補助事業（人材確保・育成など）

● 補助対象事業の例

商品開発等の研究開発に係る経費、展示商談会の開催・出展等、パンフレットの作成、ホームページ作成（個別企業は対象外）、地域商業活性化のためのイベント経費、人材確保や育成・定着のために実施する事業 ほか

お問い合わせ先

宮城県中小企業団体中央会連携政策課 佐藤
TEL. 022-222-5560

昨年度（令和3年度）は、13事業を採択しました。主な活用事例をご紹介します。

● 中央市場商業協同組合

事業内容：いろは横丁ガイドマップ2021号製作

「杓式参（いろは）横丁」といえば、皆さんも聞いたことがあるのではないのでしょうか。いろは横丁には飲食店や小売店、写真スタジオなど100軒を超える店舗があります。通路や店舗面積が狭いことから隠れ家的な魅力を提供していましたが、多くの店舗が新型コロナウイルス感染症の影響を受けていました。事業を活用して新規開業したお店の紹介、各店舗がコロナ感染防止対策を行っていることを周知する「いろは横丁アクセスマップ」を作成しました。

詳しくは「いろは横丁ウェブサイト」をご覧ください。

URL www.iroha-yokocho.jp



● 仙台筆筒協同組合

事業内容：仙台筆筒協同組合のECサイトリニューアル

仙台筆筒は、江戸時代末期に仙台藩の職人たちにより地場産業として生まれたといわれています。樺等を原材料に独特の透明感のある鏡面仕上げの仙台木地呂塗を施し、牡丹や龍、唐獅子の打出し金具の装飾により華麗な欧米でも人気がある筆筒です。新型コロナウイルス感染症の感染拡大からインバウンドによる売上高が期待できず、首都圏等での販売会にも参加できなくなっていたなか、事業を活用してECサイトのリニューアルに取り組みました。商品の紹介だけでなく、仙台筆筒の歴史、指物、漆塗、金具職人の想いを感じることができます。

詳しくは「仙台筆筒協同組合」のホームページをご覧ください。

URL <https://www.sendai-tansu.com/>

● 南光台商店街振興組合

事業内容：ハロウィータウン南光台2021 & ふれあい市

南光台商店街は、仙台市の北東部、泉区にあります。これまでも「南光台夏祭り」や「年末大売り出し」、「ふれあい市」を通して、南光台エリアに居住する方々に商店街の魅力を提供しています。地域住民の交流、安全で安心して住むことができる南光台エリアの魅力を再認識してもらおうと、事業を活用して「ハロウィータウン南光台2021 & ふれあい市」を開催しました。



- 情報連絡員による令和4年5月の県内中小企業の景況報告は、業界全体として「好転」が18.6%、「不変」が62.8%、「悪化」が18.6%、業界全体の「景況感DI」は2.3ポイント（前月比+4.7）となった。
- 3年ぶりに制限のないゴールデンウィークを迎え、外食・宿泊関連のサービス業や卸売業、食料品等の製造業を中心に、景況感は前月と比較しやや改善した。一方、引き続き原油・原材料の高騰や部品の調達難や、電力料金等の高騰、円安による輸入物価の上昇の影響に加え、コロナウイルス収束の先行き不透明感も残っている。

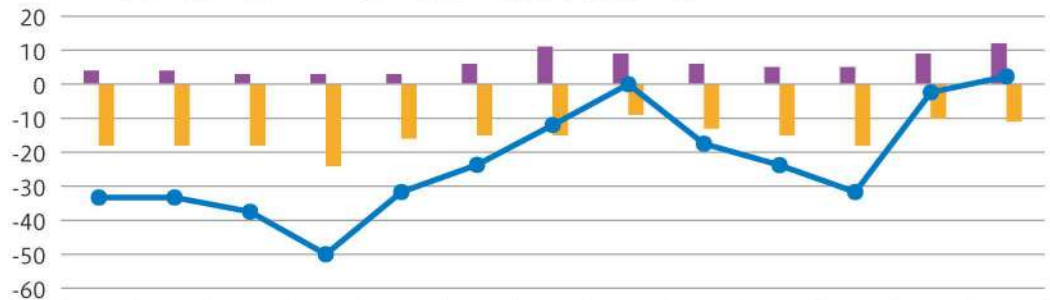
情報連絡員報告をもとに景況についてDI値を作成しました。業界の景況についての項目を「好転」割合から「悪化」割合を引いた値をもとに作成し、その基準は右記のとおりです。

30以上	10～30未満	10未満～△10	△10超～△30未満	△30以下
				
快晴	晴れ	曇り	雨	大雨

県内の景況天気図（前月比DI値）

	売上高	収益状況	県内の景況
製造業	 7	 14	 0
非製造業	 3	 △21	 0

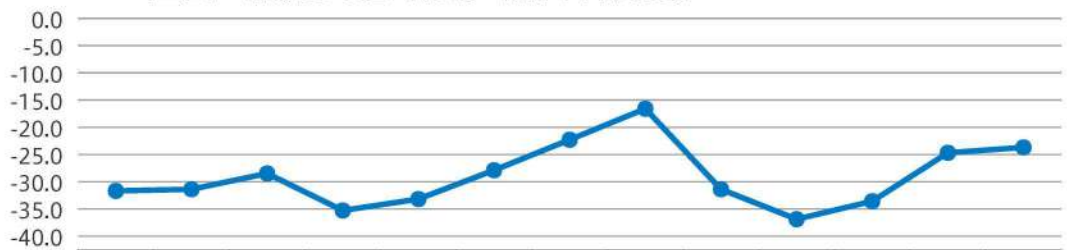
宮城県 景況DI値の推移【前年同月比】



	R3年 5月	R3年 6月	R3年 7月	R3年 8月	R3年 9月	R3年 10月	R3年 11月	R3年 12月	R4年 1月	R4年 2月	R4年 3月	R4年 4月	R4年 5月
好転	4	4	3	3	3	6	11	9	6	5	5	9	12
悪化	18	18	18	24	16	15	15	9	13	15	18	10	11
業界の景況【前年同月比】	-33.3	-33.3	-37.5	-50.0	-31.7	-23.7	-12.0	0.0	-17.5	-23.8	-31.7	-2.4	2.3

好転 悪化 業界の景況【前年同月比】

全国 景況DI値の推移【前年同月比】



	R3年 5月	R3年 6月	R3年 7月	R3年 8月	R3年 9月	R3年 10月	R3年 11月	R3年 12月	R4年 1月	R4年 2月	R4年 3月	R4年 4月	R4年 5月
業界の景況【前年同月比】	-31.7	-31.4	-28.5	-35.3	-33.2	-27.9	-22.3	-16.6	-31.4	-36.9	-33.6	-24.7	-23.7

業界の景況【前年同月比】

各業界の詳細（前年同月比、業界の動き）が必要な方は本会までご連絡ください。

中小企業団体全国大会に向けて宮城県からの要望事項

～専門委員会報告～

第74回中小企業全国大会が、11月10日（木）長崎県長崎市にて開催されます。その大会決議に関する宮城県からの要望について、去る5月9日に開催された本会の各専門委員会での審議結果がまとまりましたので要望事項を一部抜粋してご紹介いたします。

(今後、東北・北海道ブロック中央会で7道県からの要望に集約し、全国中央会での専門委員会の審議を経て全国大会への上程となりますので実際に上程する内容とは一部異なる場合がございます。)

総合

R3・R4福島県沖地震被災者への迅速な復旧支援と復旧経費の高騰による補助金の柔軟な対応強化

2年連続3回にわたる同地域で発生した巨大地震で再度の被災を受けた企業も多数あり被災者の負担が倍増していることから、グループ補助金をはじめとする復旧支援策の迅速な対応（特例措置の柔軟な適応等を含む。）と継続的なフォロー施策を強化・継続すること。

また、人手不足、資材高騰により復旧経費が日ごと、月ごとに高騰し、当初認定された復旧経費額と支払額に乖離が生じていることから、被災者が適正な価格で復旧できるよう、補助金決定額についても柔軟で、きめ細やかな対応を徹底すること。

新型コロナ対策である事業再構築補助金に係る事務手続きの簡素化等の実現

事業再構築補助金の申請において事務的なやり取りに多大な時間をとられている。補助金施策の実務管理に慎重さが求められることは理解できるが多くの中小企業や小規模事業者は補助金に係る諸手続き対応を専門に行うスタッフを抱えているわけではなく、現状として過大な労力、負担を強いられる状況となっており、結果的に補助金の入金に至るまでの期間も長期化することに懸念を持つ企業、事業者も多い。こうした現状に鑑み、特に採択後に於ける書類を含めた事務手続きに係るより一層の簡素化を図り、補助金施策の実務面の対応管理体制のあり方を徹底して見直すべきである。

官公需における入札・発注後の契約価格の弾力的な見直し及び地元企業優先の徹底

コロナ禍に加え不透明な世界情勢の影響もあり原材料や燃料等の価格高騰が著しい。特に建設関連業務等では自治体の設計単価が現状に追いついていない状況であることを鑑み、官公庁に於いては入札・発注後の契約価格についても市況の変化に合わせ柔軟な対応措置を講じること。

中小企業・小規模事業者及び事業協同組合等は、地域経済の牽引役であり、また、地域の実情に精通しており、地域を網羅した組織力を活かした迅速な対応が行えるため、国等及び地方公共団体は、地域に対する貢献活動等を積極的に評価するとともに、地域の雇用や社会・経済の担い手である地元（地場）に本社のある中小企業を一定以上優先（随意契約等）すること。

税制

消費税率の引き下げ

ウクライナ情勢の悪化による急激な円安進行、原油を始めとするエネルギー価格、原材料費価格が一段と高騰し長期化している。こうした状況の中、多くの中小企業が仕入れ価格上昇分・コスト増分を販売価格へ転嫁できていない状況を鑑み、現在10%の消費税率を7%ないし5%へと引き下げを行うべきである。

金融

中小企業の維持・継続のための金融制度の実施

政府系金融機関による実質無利子・無担保融資制度は令和4年9月まで延長されたが、保証料の免除については盛り込まれていない（「信用保証料の補助」に関して、「条件変更に伴い追加して生じる信用保証料については国の補助の対象外」とされている）ことや民間金融機関における同制度の取り扱いは令和3年3月に終了しているなど昨年からの要望で未実現になっている事項もあり、据置及び返済期間を長期間に設定するとともに、コロナ禍が長期化し、企業の資金繰りが厳しさを増している現状を踏まえ、企業経営の安定に資する金融支援策の継続・拡充を講じること。

労働

地域中小企業・小規模事業者の人材確保・定着支援の強化

中小企業では、特定の業種にとどまらず幅広い業種で人手不足が常態化している。人材不足業界に対する積極的な人材確保支援策を拡充・強化すること。また、発注側の働き方改革推進により、下請け企業側にそのしわ寄せが生じ、中小企業・小規模事業者の長時間労働が助長されることがないように、取引条件の改善等適切に働きかけること。

エネルギー・環境

カーボンニュートラルの実現へ向けた取組みに対する支援強化・拡充

「2050年脱炭素社会（カーボンニュートラル）」の実現へ向け、中小企業・小規模事業者が取り組みやすい支援策等の充実、強化を図るとともに、生産過程で発生するCO₂排出量が及ぼす環境負荷等を検証し、事業者や国民に正確な情報（エビデンス）を示すこと。

工業

ものづくり補助金の申請要件の公平化と緩和並びに申請から精算に至る事務手続きの簡素化等の実現

過去に交付決定を受けた事業者は応募の段階から補助対象外とする措置がとられている。より多くの企業に施策の門戸を開放しようとする趣旨はある程度理解できるが、結果として地域の優れたものづくり技術やサービスの研究・開発の芽が置き去りとなる可能性がある。今後、将来に向けた日本のものづくりの技術力をより高めていくためにも公平な条件のもとでの企業間競争は必要であり、最初から門前払いのような措置は廃止すること。また、審査項目の加点項目にも賃上げ加点が規定され始めているが、『中小企業・小規模事業者の経営実態を十分に考慮』し、企業側の懐に頼るような「人件費に係る要件設定や加点項目」については緩和若しくは当面の期間停止すべきである。

商業

キャッシュレス決済に係る中小小売業及び商店街振興組合等への支援策の拡充・強化

政府が推進しているキャッシュレス決済を導入した後に生じる決済手数料について、手数料の負担軽減につながる支援や端末導入のための支援策を講じること。

サービス業

飲食業、宿泊業、運輸業等への支援継続強化

コロナ禍の長期化により、大きな打撃を受けた飲食業、宿泊業等のサービス業に対する支援の継続強化を図ること。

また、燃料油価格の高騰について、運輸業等に対する直接的な支援策を講じること。

地域づくりの新傾向（上）

—人口減少・高齢化とネット社会の進展—

東北学院大学 教養学部地域構想学科
教授 柳井 雅也 氏

1. はじめに

このコラムでは生業を含む産業経済から構想される地域づくり(例：商店街活性化、地域おこし等)の変遷と、大学の地域づくり専門家の課題と役割に触れつつ、地域づくりの新傾向を紹介し検討することを目的とする。なお、ここでいう地域とは中央に対する地方を指すことにする。

2. 高度経済成長期から 平成不況期までの地域づくり

高度経済成長期から平成不況期（1960年～2002年1月頃）にかけて地域は3つの道に分かれていった。1つ目は、ここには「なにもない」、「何をやっても無駄」として放置された地域である。2つ目は、東京（中央）と時間距離（交通体系）をひたすら短くするように努力し、自分たちが住む市や町もミニ東京を目指すタイプである。これは世界から富や文化を集めてくる東京のおこぼれ（分配）を頂戴する方法で、当時はわかりやすく賢いやり方とみなされていた。その考えの軌道上に高速道路や新幹線の整備も構想され、地方の有力政治家も熱心にこれを推進していた。街中には「○×銀座」「△□浅草」という地名が付き、東京発祥の店が地方に開店すると素直に「うれしかった」のである。そういう地域づくりだった。3つ目は、望んでも東京からのおこぼれにあずかれず、「それならば自ら事を起こそう」というタイプである。地場産業（アパレル産業地域等）を中心とした地域づくりや、大分県の一村一品運動（例：「桃栗植えてハワイに行こう」）、鹿児島県鹿屋市柳谷集落の「やねだん」（行政に頼らないまちおこし：自主財源を稼ぐ）、徳島県上勝町（「彩」による葉っぱビジネス）、大分県別府市のオンパク（地域の価値を発見）等が挙げられる。特にオンパクは、地域住民全体で来

訪客をもてなし、合わせて地域の人も自分が暮らす地域の「よさに気づく」という「一石二鳥」の取り組みで、やがて全国にこの取り組みは広がっていった。これらに共通していたのは、地元へ愛着と危機感を持ったリーダーや有志が地域住民をまとめながら「みんなで一歩」を踏み出すところにあった。

3. 平成不況以降の地域づくり

全国的に人口減少と高齢化が進展する中で、地域で活動する人も徐々に減り、空き家も増加する一方で、IT技術が進化して地域づくりに変化（担い手、取り組み等）がみられるようになってきた。それまでは地域の未来は地元の人が決めるという考え方があたりまえだったが、ネットを活用できる地元の若者やよそ者、それに専門家が地域づくりで一定の役割を担うようになったのである。特に地元の若者やよそ者は、必ずしも初めから地域づくりをしようとしていたのではなく、彼らの活動が結果的に地域づくりに繋がっていくことも多かった。彼らが求めたのは、大都会のような「便利でファスト」な地域づくりではなく「自分流のスロー」な地域づくりである。こうして「一人の歩」から地域を巻き込む、新傾向の地域づくりが始まった。そして、専門家が加わり地域全体の取り組みに育てていくときは、地域住民の「気づき」を得るためワークショップも盛んに取り入れられるようになったのである（図参照）。

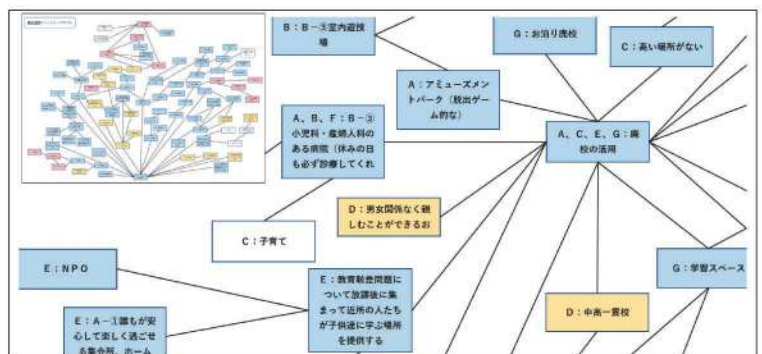


図 筆者による某市ワークショップのイメージ（図中左上は全体図）

地域づくりの新傾向は以下の4つに整理できる。

1つ目は、地域の価値を端的にまとめ上げて発信しつつ、同時に地域づくりも進めていく地域デザイナーの役割が認識されてきたことである。高知県馬路村は柚子ドリンクで有名だが、ここで地域デザイナーの梅原真氏がラベルの制作を行っている。梅原氏自身は1980年代から活動を行っているが、同じような職業人が各地に移住して活動する事例が増えてきている。

2つ目は、ネット活用が常態化したことである。これによって集客、地場製品の販売、集金、観光振興、移住促進が進んだ。こうして①歴史のある古民家等を守るためのクラウド・ファンディング、②人材の募集や育成（^{みそぎ}禊川大学等）、③若者の移住・定住の事例が出てきた（徳島県神山町等）。

3つ目は、廃校舎跡や古民家が宿泊施設やカフェ、コワーキングスペース、起業家育成のためのインキュベータ施設として転用されるようになってきたことである。地域の複数の古民家を活用して、村をまるごとホテルとみなす取り組みも出てきた（丹波篠山市等）。

4つ目は、公民連携の動きが出てきたことである。下川町の林業やバイオマス産業を軸とした環境未来都市構想や、海士町の水産加工業における冷凍技術CAS（細胞蘇生システム）の導入、紫波町のオガール等が、自治体や外部の専門家と協働しながら地域の「よさや強み」を磨いている。

4. 地域づくりの新傾向の事例

ここでは地域づくりの新傾向を示す事例を紹介しておく。徳島県美波町でセキュリティソフトの開発販売を手がけるサイファー・テック株式会社CEOの吉田基晴氏は、最初は東京で事業を手掛け

ていた。しかし、中小で無名の会社では優秀な社員が来てくれないというジレンマを抱えていた。そこでふるさとの美波町に自然や人、農、地方と触れあうことのできる「美波Lab」を設立し、従業員募集もそのコンセプトを優先して行った。するとハイレベルなIT技術をもった若者が集まってきた。なかでもサーフィン好きが集まってきたという。仕事と遊びの主従関係を変えられる田舎の暮らしを武器（働き方改革「半X半IT」：職住近接で時間も取れ、ある程度融通も利く）にその後も優秀な従業員が集まってきている。更に吉田氏は地域づくり会社「株式会社あわえ」を設立して本格的に地域づくりに乗り出した。その理念は地方の課題をビジネスの手法を通じて解決していくことである。

また美波町も「あわえ」と協力しながら都市部のベンチャー企業を誘致する施策を打って、2012年～2020年に20社の誘致に成功した。また2014年には6人の社会増を達成している。加えて児童・生徒の多地域就学を可能とするデュアルスクール制度（2016年）を日本で初めて実現した。この過程で美波町と「地方創生におけるパートナーシップ協定」（同年）を結び官民連携を強化・推進している。このほか「四国の右下木の会社」をつくり炭や薪の生産にも取り組むなど、循環型社会の実現にも取り組んだり、古民家を改修してラーメン屋を誘致したりして、雇用づくりや生活環境改善にも取り組んでいる。そこには情報でヒト・モノ・金を呼び寄せ、地域内経済循環の形成・促進につなげていく「地域まるごと活性化」の意図がみられる。2022年1月現在、「あわえ」は地域づくりの「ジェネリック」という発想で全国の258自治体に支援・横展開を図っている。

以下、次号

〈略 歴〉

仙台市生まれ。法政大学大学院地理学博士課程中退。岡山大学文学部助教授、富山大学経済学部教授を経て、2005年4月より東北学院大学教養学部地域構想学科教授。1993-94年UCLA大学客員研究員。2013～14年ケルン大学地理学部客員教授。

専 門：経済地理学（産業立地論、地域づくり、震災復興）

委 員：総務省ふるさとづくり懇談会委員、復興庁震災復興関係委員、富県宮城推進会議幹事、地域づくり全国協議会幹事、東北電力まちづくり元気塾チーフパートナー、サントリー東北サンさんプロジェクト審査委員等



新規学卒者等採用に係る雇用要請

5月27日（金）、来年3月期における新規学卒者の採用に
関し、宮城県、仙台市及び宮城労働局等から下記3項目の要
請がありました。

- 1 新規学卒者の正規雇用採用枠の確保・拡大
- 2 新規学卒者への多様なツールを活用した企業情報の提供
- 3 働き方改革関連法の趣旨を踏まえた魅力ある職場づくり
や人材教育の推進

令和4年3月の新規高卒者の就職率は、採用選考の円滑化
や早期の求人提出等により高い水準になりました。一方で、
生産年齢人口の減少が進み、地域を支える地元企業におい
ては、人材の確保が一段と厳しくなっており、地域の持続的
な発展のためには、学生や企業に対する適切な就職・採用
への支援が一層必要になっています。

本会は上記雇用要請の内容を会員組合の皆様へ周知し、地
域の将来を担う新規学卒予定者を始めとする若年者が一人

も多く正規雇用され、地元企業にてキャリアを積み、次世
代を担う人材が一人でも多く育つような職場づくりを支援す
べく関係機関との連携を強化して参ります。



本会佐藤会長に要請を行う宮城労働局職業安定部長 竹内ひとみ氏

仙台学長会議からの要望

— コロナ禍における宮城・仙台地区新規大卒者等採用支援のお願い —

7月1日（金）、県内19大学が加盟する仙台学長会議より
本会に対して下記の雇用要請がありました。

- 1 コロナ禍の中で昨年度に大きく変化した各企業の採用姿
勢について、引き続き最新の情報を学生に広く提供して
いただくこと
- 2 インターネット等を通じたウェブ面接なども含めて、学
生との幅広いコミュニケーション（採用面接）の拡大等
もご考慮いただくこと
- 3 昨年度に比べて早期化が予想される採用活動について、
学生の就職活動状況を考慮して、採用選考期間を延長し
ていただくこと
- 4 新型コロナウイルス感染症に伴い平日の授業スケジュ
ールが過密状態にあることから、場合によっては土日・祝
日等での採用試験実施についてご配慮いただきたいこと

来春2023年3月卒業予定の大学生・大学院生対象の大卒
求人倍率は1.58倍と、2022年卒の1.50倍より0.08ポ
イント上昇しておりますが、コロナ禍前の1.6倍以上の水準には
戻っておりません。地政学的リスクの上昇、不透明な景況感、

原材料価格の高騰等さまざまな要因があり、その影響から採
用意欲回復に力強さを欠く状況となっています。

本会としては引き続き会員組合の人材確保に資するため、各
企業と大学をつなぐための情報提供等に積極的に取り組んで
参ります。



本会佐藤会長に要請を行う東北学院大学学長 大西晴樹氏

令和4年福島県沖地震グループ補助金 申請受付中です

3月16日に発生した令和4年福島県沖地震により被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。宮城県では、被災された中小企業者等の施設・設備の復旧・整備等を支援する「令和4年度中小企業等グループ補助金（なりわい再建支援事業）」の申請を受付けています。

中小企業者への補助率は対象経費の3/4以内、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、東日本大震災からの復興途上にある企業等では、全額補助の可能性もあります。申請には2者以上の中小企業者等で共同事業を行うグループが必要なことから、組合員同志のグループ化等に取り組むことで、新たな組合機能の創出や共同事業の強化・拡充等も考えられます。

なお、本会では、組合等によるグループ組成、共同事業実施支援のほか、グループへの加入等が困難な会員組合やその組合員企業の方々等を対象に、令和元年台風19号や昨年の福島県沖地震からの復旧に向け組成した「宮城県中央会 事業継続力強化グループ」へご加入いただく形で補助金申請への支援も行っています。専門チームによる個別相談や申請書類の作成支援等により、本会グループでは、第1回公募（6月17日締切）に続き、第1回公募に間に合わなかった被災企業等のため、第2回公募（7月19日締切）においても、復興事業計画の認定を申請することになっています。グループ補助金に関するお問い合わせは、本会グループ補助金担当までお願いいたします。



組合に出向き、
本会グループの
共同事業等を説明

column

Vol. 3

虎視眈々……事務局のつぶやき

- ❖ 6月14日、本会第8代会長 今野 敦之 前会長がご逝去されました。職員一同 謹んでご冥福をお祈りいたします。
- ❖ 今野前会長は、よく「国の礎中小企業」という中小企業団体の歌の一節になぞらえ、皆様に「自分たちが日本国を支えているという気概を持って」と話されていました。また、常日頃、中央会職員に対しては、こうした国の礎である「中小企業の期待に応える指導員たれ」と励ましの言葉を頂きました。改めて心より御礼申し上げます。
- ❖ コロナ感染が小康状態となり、経済との共存に向けた取組みが加速してきた。インバウンドの再開や国内旅行の県民割拡大等に期待しつつ、日頃の感染対策に万全を期したい。
- ❖ 企業の原材料費、燃料費等が高騰している。また、日常の消費・購買活動の中でインフレを実感してきた。世界情勢の不安定化と地球温暖化、災害の頻発等の影響で当分の間インフレ傾向が続く可能性がある。「失われた30年」をデフレ経済で過ごした日本。急速なインフレにどのように対応していくべきか。
- ❖ デジタル・DXの急速な流れと、テレワーク、在宅勤務、副業・兼業の推進等の「働き方改革」にどのように対応していくか。一社で悩まず、組合や連携組織の協力の力が今こそ必要ではないか。互いの知見を持ち寄り、より良い社会の構築に向け力を結集したい。
- ❖ 今年は仙台七夕、花火大会も有観客で開催が決定した。ジャズフェスや光のページェントなど潤いのある日常が戻ることを期待し、猛暑に負けず頑張りたい。

経営相談室

登記手続きの話（組合法解説 vol:2）

<そもそも登記とは>

組合を運営する上で必ず必要になるのが法人登記です。

登記とは、会社等に関する取引上重要な一定の事項（商号・名称、所在地、代表者の氏名等）を記録し、これを社会一般に公開することで、会社等の信用維持を図るとともに、取引関係に入る第三者に対して安心して取引できるようにすることを目的としています。



<組合の登記事項>

組合は、次の事項に変更があった場合には、変更の登記をしなければなりません。

(1) 事業、(2) 名称、(3) 地区、(4) 事務所所在地、(5) 出資1口の金額及びその払込の方法並びに出資の総口数及び払込済出資総額、(6) 存続期間又は解散の事由を定めたときは、その時期又は事由、(7) 代表理事（代表権を有する者）の氏名、住所及び資格、(8) 公告方法

※代表理事については、重任・再任であっても変更となるので、改選期ごとに変更登記を行うこと。

※商店街振興組合の「公告方法」は登記事項から除かれます。

<登記期間>

登記事項に変更が生じた場合、中小企業等協同組合法第85条の規定により、主たる事務所の所在地においては2週間以内に変更の登記をしなければなりません。ただし、出資の総口数及び払込済出資総額の変更の登記は、事業年度終了後、4週間以内にすればよいことになっています。

登記期間の経過後に登記の申請をした場合でも、登記は受理され、その効力に影響はありませんが、登記義務者である組合の代表者は登記を怠ったこと（登記懈怠）による制裁（20万円以下の過料）を受ける場合がありますので注意する必要があります（中小企業等協同組合法第115条第1項第2号）。



 裁判所から組合代表者の個人住所宛に過料決定通知が届いてしまいます。

なお、登記が完了したら、現在の組合の登記状況を把握するためにも、また、融資を受ける等の際に必要な場合がありますので『登記事項証明書』（いわゆる従来の「登記簿謄本」）を取っておくことをお勧めします。

登記事項証明書には「履歴事項全部証明書」「現在事項全部証明書」等がありますが、「現在事項全部証明書」を取っておけば足りるでしょう。

<登記も郵送での申請や電子申請が可能です>

登記の申請は窓口のほか、郵送による方法でも行えます。なお、申請書には、連絡先（電話番号等）を必ず記載しましょう。郵送は、普通郵便によることも差し支えありませんが、できる限り到達の確認が可能な書留等で送付するとよいでしょう。（封筒の適宜の箇所に「登記申請書在中」と明記してください。）

また、電子申請の場合には申請用ソフトのダウンロードと電子証明書取得が必要になります。電子証明書は若干の費用が発生しますので、詳細については法務省のホームページをご確認ください。

<https://www.moj.go.jp/MINJI/minji60.html>



登記申請に必要な書類や様式例は本会のホームページからもダウンロードできます。

代表理事、出資口数の変更のほか、事業、地区及び公告方法などについて定款変更をされて登記を忘れていたことはありませんか？

今一度「現在事項全部証明書」などで確認してみてください。

ご不明な点は本会職員までお問い合わせください。



第75回 中小企業団体全国大会 宮城大会

令和5年 **10月11日** **水** 開催

14:00~16:30(予定)

【開催場所】 **仙台国際センター 展示棟**

(仙台市青葉区青葉山無番地)

【主 催】 **全国中小企業団体中央会・宮城県中小企業団体中央会**

宮城大会の会場は、コンベンション都市仙台を代表する施設「仙台国際センター展示棟」です。
この施設は東日本大震災後の2014年12月に建てられ、2015年3月には国連防災世界会議のメイン会場として使用されました。地下鉄東西線の開通により仙台駅から僅か5分という抜群の立地と広瀬川や仙台城址を臨む環境で、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

つながる ひろげる 連携の架け橋

 **宮城県中小企業団体中央会**
Miyagi Prefecture Federation of Small Business Associations

写真提供：宮城県観光プロモーション推進室

人材確保・再就職・ 出向をサポート

約500人のコンサルタントが全国対応。利用料・紹介料無料

産業雇用安定センターとは

人材を送り出す企業と人材を受け入れる企業との間で様々な
人材マッチングを支援している公的機関です。

約23万人の
実績

サービスのラインナップ

1 人材確保・再就職の 人材マッチング

専門性の高い人材を
雇いたい、人材を確保したい

マッチング

事業の整理・縮小を
検討している



2 キャリア 人材バンク

能力・技術を有する
高齢者の雇用を検討

マッチング

66歳以降もまだまだ
働きたい



3 人材育成・企業間交流の ための出向支援

新規分野開拓のために
経験者を受け入れたい

マッチング

他企業での就業経験に
より従業員の能力・技術
向上を図りたい



4 セミナー事業(有料)

- 新入社員研修・フォローアップ研修
- リーダーシップスキルアップセミナー
- マネジメントスキルアップセミナー
- ハラスメントセミナー など



公益財団法人
産業雇用安定センター 宮城事務所

ご利用時間 9:00~17:00
(土・日・祝日を除く)

〒980-0014 仙台市青葉区本町1-1-1 大樹生命仙台本町ビル9階

TEL 022-726-1826 FAX 022-216-7700

産業雇用

検索



定価 100円

会員については会費に含まれています。

発行所/宮城県中小企業団体中央会
仙台市青葉区上杉一丁目14番2号

TEL.022-222-5560 FAX.022-222-5557
<http://www.chuokai-miyagi.or.jp>